

# 留萌ゆめみらい物語

#2 米倉 渉さん



米倉水産株式会社  
勤務

よねくら わたる  
米倉 渉さん

## 漁業で地域を元気に

### 「栄渉丸」で目標に向かう

米倉水産株式会社に勤務する米倉渉さんは、留萌千望高校を卒業した後、北海道立漁業研修所で漁業について学び、平成23年11月から漁師として働き始めました。

米倉さんは「幼いころから、漁師として働く父親の背中を見て育ちました。父親のような漁師になりたいと思い、この道を選びました。まだまだ学ぶことはたくさんありますが、経験が積み重ねながら、安定した水揚げを出せる漁師になりたいと考えています」と話してくれました。

米倉さんは、3月中旬から6

月下旬までは刺し網漁、6月上旬から7月下旬まではタコたる流し漁、7月上旬から8月下旬まではナマコ桁網漁、9月上旬から翌年5月下旬まではエビこぎ網漁に従事しています。

「一番初めに乗った船は、エビ桁（エビこぎ網漁）船で、そこで仕事の基礎を覚えました。4年ほど前からは、事業を1つ任せられるようになり、タコたる流し漁に取り組んでいます。昨年は念願がかない、5月に自分の船『栄渉丸（えいしょうまる）』を持つことができました。昨年からは『栄渉丸』でタコ漁に出ています」と笑顔を見せてくれました。

ました。

漁業の魅力について「沖の状況は、風向きや潮流などでその日によって違うので、それに合わせて漁のやり方を少し変化させています。狙い通りの成果が出たときはうれしいですね。試行錯誤したことが結果として表れるところに面白さを感じます」と語ってくれました。

「今後、地域の漁業を支える担い手が増えることを願っています。若い力で地域の漁業を盛り上げ、留萌を元気にしていきたいですね」と話してくれました。

◇  
米倉渉さんの取り組みなどについては、左記へお問い合わせください。

問 米倉水産株式会社

☎ 43-1133



▲エビこぎ網漁で使用する網の手入れを行う米倉さん